平成 30 年度いわき市子育で支援員研修の実施結果について

1 子育て支援員研修の概要

子ども・子育て支援法に基づく給付又は事業として実施される、家庭的保育事業などの地域型保育や、利用者支援事業などの人材の確保のため、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する者に対し知識や技能等を修得するための研修制度。

2 平成30年度に市が実施した研修

○ 日程:【座学】平成30年6月11日~6月19日【実習】平成30年7月3日~7月24日のうち連続する2日間

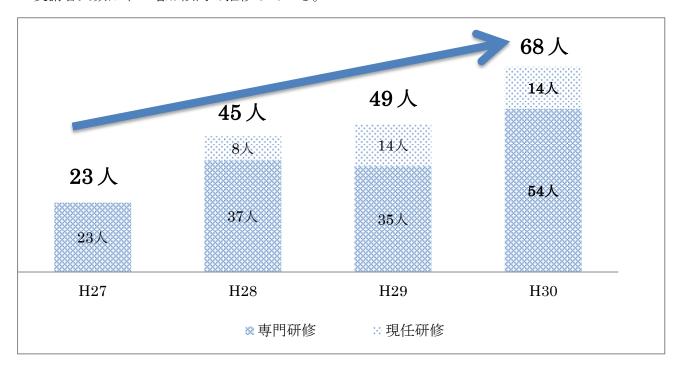
○ 事業委託先: NPO 法人日本チャイルドマインダー協会

○ 受講コース・研修受講者数

	研修種別	受講者数	うち、保育・子育て支 援分野に従事してい る人数
専門研修	地域保育コース・地域型保育	43 人	35 人
	地域子育て支援コース・地域子育て支援拠点事業	11 人	8人
現任研修	地域保育コース	4人	3人
	地域子育て支援コース・利用者支援事業	7人	7人
	地域子育て支援コース・地域子育て支援拠点事業	3人	2人
合計		68 人	55 人

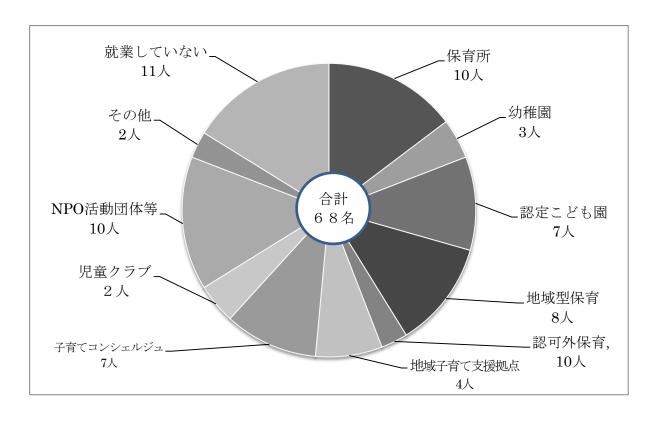
○受講者数の推移

受講者人数は年々増加傾向で推移している。



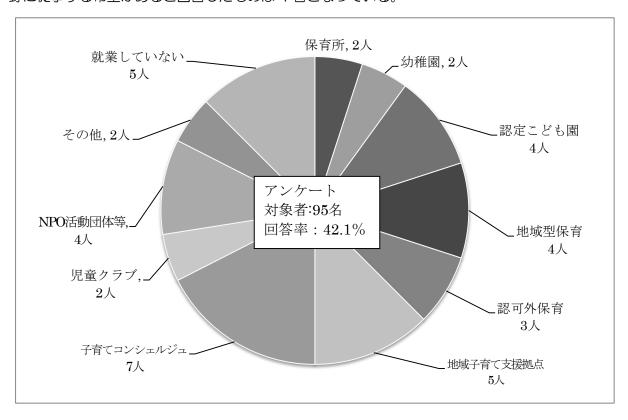
3 平成 30 年度子育て支援員研修受講者勤務先内訳

保育、子育て支援分野に従事している者の割合は約8割となっている。



4 平成 27~29年子育て支援員研修受講者の勤務先ついて

回答のあったもののうち約8割の方が保育、子育て支援分野に従事している。 また、その他及び就業していないと回答した方(7名)のうち、今後、保育、子育て支援分野に従事する希望があると回答したものは4名となっている。



【参考資料】

今年度に実施した研修コースについて補足

※ 実施したのは下図のうち破線で囲んだ2コース

分野		事業内容	基本研修	専門研修	
	・小規模保育事業 (B型:保育従事者) (C型:家庭的保育 補助者)	6~19人 (C型は10人) の少人数の子どもに、き め細やかな保育を提供			
地域保育コース	・家庭的保育事業 (家庭的保育補助 者)	保育者の居宅等で5人以 下の子どもに、家庭的な 雰囲気のきめ細やかな保 育を提供	8科目 8h	(共通科目) 12科目 15~15.5h	(選択科目) 6科目 6~6.5 h 十実習2日
	・事業所内保育事業 (保育従事者)	会社等の保育室で従業員 や地域の子どもに保育を 提供 (~19人)			
	・一時預かり事業 (保育従事者)	一時的に保育が必要な子 どもの預かり			(選択科目) 6科目6~6.5 h +実習2日
	・ファミリー・サポ ート・センター事業 (提供会員)	子育で中の保護者が他の 保護者の児童の預かり等 を行う			(選択科目) 4科目
地域子育て支援コ	・利用者支援事業・ 基本型 (専任職員)	子育て家庭のニーズを把握し、様々な情報提供や相談等の支援を行うと同時に、地域の関係機関との連携や協働の体制づくりを行う	,	9科目2 4 h	
支援コース	・地域子育で支援拠 点事業 (専任職員)	公共施設等の身近な場所 で、子育て相談に応じた り、親子の交流の場を設 けたりすることで、地域 の子育て支援機能の充実 を図る		6科目6h	

※ 上記コースのほかに、放課後児童クラブの補助者を目指す、「放課後児童コース」、乳児院等の補助的職員を 目指す「社会的養護コース」がある。

(別表4) 現任研修(基本研修・専門研修)

対象者	全ての従事者(経験年数問わず)
目 的	各事業の従事者としての資質の向上を図るために必要となる、基礎的分野が
	ら事業の特定に応じた専門分野における必要な知識・技術を習得する。
内 容	〔基礎的分野〕
	・最近の児童福祉の概要
	・子どもの発達・遊びの理解
	・子ども・保護者対応、緊急時の対応
	・子どもの虐待
	・障害児への理解等
	[専門分野]
	・各事業の特性に応じた研修内容とし、基礎分野と組み合わせて実施する
	形態も可
	・スーパービジョンによる事例の検討 等
時間数等	各事業の特性に応じた回数・時間数を設定。